

第26期第2回常任理事会議事録

日時：11月29日 13時30分—17時30分

場所：気象庁 総務部会議室

出席者：浅井，竹内，小倉，藤谷，木田，村上，青木，
安富，松原，安成，中村

議 事

A. 報告事項

- ・各委員会報告

「庶務」

- ・後援名義依頼 2件
- ・図書寄贈 1件（高橋浩一郎名誉会員）
- ・会員制度改正に関する定款の一部改正が承認（文部省）された。

「会計」

- ・10月の収支計算表が提出され担当理事から説明があった。会員データベース外注の委託費が予算額をオーバーしている他は予算どおりに経理されている。

「天気」

- ・11月号の内容報告と12. 1月号の予定が報告された。
- ・編集委員会報告
 - 1) 原稿量の増加により今後シンポジウムの報告については原稿料は支払わない。
 - 2) 1991年の新企画として「気象学の手引」を4月号から始める。また、カラーページを隔月取り入れる。
 - 3) 投稿論文の改訂稿の提出が遅い場合があるので、取扱の基本方針を定めた。

「通信メディア」

- ・年度内の事業計画
 - 1) 現在使用中の1200bpsのモデムを2400bpsに更新する。
 - 2) 1200bpsは学会事務局に移設する。
- ・1991年度の予算案
1990年度と特に変更はない。
- ・気象学会パソコン通信の10月の運用状況報告があった。(120件)

「気象研究ノート」

- ・編集委員会報告があった。

- 1) 171号：気象統計（年度内刊行予定）

- 2) 今後の発行予定

- ア. 大気雪氷相互作用
- イ. ソリトン
- ウ. 台風予報

「総合計画」

- ・若手研究者の研究会への支援について代表者から要請を受けている。取扱いについては今後検討する。
- ・気象学会の運営体制の見直しは、1992年度の総会提出を目的に検討を進める。

「講演企画」

- ・秋季大会（京都）は総参加者が500名を超え盛会であった。新しく実施したビデオセッションは好評だったので今後も実施していきたい。機器の購入については今後検討する。
- ・来年の地球科学関連の合同大会には、オゾン関連のシンポジウムを共催で実施する。シンポジウムのプログラム（案）が紹介された。場所は八王子・共立女子大講堂、日程は4月上旬（未定）・来年4月中旬に大気・海洋結合モデルに関するシンポジウムを海洋学会と共催で予定している。
- ・来年春季大会の講演申し込み締切は3月13日。シンポジウムのテーマは未定。

「教育と普及」

第24回の夏季大学のアンケート結果に基づいて次の計画検討を始めた。

B. 審議事項

1. 第1回理事会の議事録が一部修正の上承認された。
2. 会員の新規加入について
新入会員 個人 8名，退会 個人3名が承認された。
3. 1991年度の事業計画案・予算案について
・地球惑星科学関連合同大会での共催シンポジウム「オゾン研究の展望」の分担金10万円が承認された。
4. 第26期評議員会について
会の次第，構成メンバー，会場（気象庁第1会議室）日程などについて検討が行われた。次回常任理事会で決定の予定。

5. 新規の研究連絡会について

- ・代表世話人（関口理郎会員）からオゾン研究連絡会の設立の要請があり、審議の結果承認された。

なお、研究連絡会が4～5つ動き始めた時点で新しい研究連絡会間の相互調整を行う協議会を作ることとした。

6. 大会運営について

- ・大会の申し込み方法、参加料の値上げ及び本部交

付金などについて改善案が提示され審議の結果ほぼ原案どおり承認された。

7. その他

- ・気象集誌編集委員会から1991年度の文部省の科学研究費により気象集誌データベースを作成する計画が提案され補助金助成の申請を行うことが承認された。

第26期第3回常任理事会議事録

日時：12月27日 13時30分—17時00分

場所：気象庁 総務部会議室（8階）

出席者：浅井，竹内，小倉，村山，藤谷，木田
村上，青木，安富，松原，安成，中村

議事

A. 報告事項

1. 各委員会報告

「庶務」

- ・協賛依頼 1件
- ・1991年度「研究成果刊行費」及び「気象集誌データベース」作成助成の申請を12月7日に行った。
- ・日本学術会議第15期会員等の推薦依頼があった。

「会計」

- ・1990年11月の収支残高報告
- ・会費請求作業の現状報告（例年より約1カ月遅れている）
- ・1990年度決算は100万円程度の赤字決算となる見通しが報告された。

「天気」

- ・1月号・2月号の内容予定が報告された。
- ・カラーページは1月号から隔月で掲載する旨報告された。

「講演企画」

- ・海洋学会との共催でシンポジウム「気候変動と海洋」を企画している。日時・場所は未定。

「通信メディア」

- ・パソコン通信の電子掲示板11月の状況が報告された。
- ・2400bpsのモデムに更新した。（12月20日）

「国際学術交流」

- ・国際学術研究集会参加補助：気象研究所里村雄彦会員

「IAMAP」

- ・IAMAP事務局から第6回 IAMAP 及び第4回 IAHS の合同国際会議の説明書が提出された。

B. 審議事項

1. 第2回常任理事会の議事録は一部修正の上承認された。
2. 会員の新規加入について
新入会員 個人7名，退会 個人4名が承認された。
3. 1991年度の事業計画案・予算案について
・「気象集誌」編集委員会から70巻1号を「アジアモンスーン」特集号とする企画が提案され審議の結果，計画を進めることになった。
4. 第15期日本学術会議の会員等の推薦について
松原担当理事から日本学術会議からの要請について説明が行われた。今回も，第13期の推薦にあたり取り決めた内規に従い選考委員会を設置することになり次の選考委員を選定した。
竹内 清秀，山元龍三郎，松野 太郎，
岡村 存，木田 秀次
全理事の承認を得て理事長が指名することとした。
5. メソ気象研究連絡会の設立が承認された。
6. 第26期第1回評議員会について
2月2日（土）の12時から14時30分の予定で気象庁第1会議室で行うことにした。
7. 委託業務の受託について
環境庁から「気候モデルに及ぼす雲の影響」の調査を当学会に委託したいと要望があった。審議の結果，調査を受託することになった。今後，委託業務は理事会の承認を得ることとする。また，総会で会員に知らせることとした。
8. 国際学術交流委員会委員に柏木啓一会員を追加することが承認された。